

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		印鑑登録、証明事務				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続				継続		事務事業No.	060304000420
総合計画の施策名		単独/補助				単独		所属課	030101
政策名		0603 時代に合った自治体運営						課長名	市民課
施策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	市民G
手段名		03 時代に合った自治体運営						担当者名	
04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護									
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
01	02	03	01	02	00		戸籍住民基本台帳事業		
法令根拠						単年度繰返し (平成17年度～)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市印鑑条例及び印鑑条例施行規則に基づき、印鑑の登録及び証明に関する事務を正確かつ迅速に処理し、住民の利便を推進するとともに取引の安全に寄与する事務である。 印鑑登録証明書は印鑑登録をしている市民の財産に関する取引に使用する印鑑を公に証明するものである。 印鑑の登録資格は、桜川市の住民基本台帳に登録されている15歳以上の者。ただし、意思能力を有しない者は登録を受けることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①印鑑登録申請書受付(本人の登録意思確認) ②内容審査(本人確認・代理人申請や本人確認不可能な場合は郵便照会) ③印鑑登録及び印鑑登録証交付・印鑑証明書発行 ④手数料徴収 ⑤印鑑登録原票・申請書等保管 ※登録証紛失時は再登録料1,000円徴収

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
・印鑑の登録は申請者本人が本人であること及び当該申請が本人の意思に基づくものであることを確認する。	印鑑登録処理件数	件	1,153.00	1,105.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00
	印鑑登録廃止処理件数	件	1,437.00	1,418.00	1,550.00	1,550.00	1,500.00
	印鑑登録証明書コンビ二発行件数	件	417.00	737.00	800.00	900.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
桜川市に住民登録をしている15歳以上の市民(外国人を含む)で、印鑑登録を希望する人。既に登録している人。	15歳以上の市民	人	36,336.00	35,795.00	35,200.00	34,700.00	34,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
・印鑑の登録や証明に関する事務について、正確かつ迅速な対応を受けることができる。	適正に印鑑登録等事務を処理した割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	225	75	194	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	225	75	194	
	正規職員従事人数	人	8.00人	10.00人	10.00人		

		03年度事業費 実績(千円)		04年度事業費 予算(千円)	
事業費の内訳	10 需用費	75		10 需用費	45
				12 委託料	149
	合計	75		合計	194

事務事業名	印鑑登録、証明事務	事務事業No.	60304000420	所属課	市民課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・法律による(明治4年諸品売買取引心得特定書制度として取り上げられ、明治11年戸長職務の概目の第11条で市町村が印影簿を整理することとなる。昭和49年自治省より印鑑登録事務処理要領が示され、市町村においてもそれに準拠して条例、規則を定めて実施している。 ・社会情勢の変化に伴い、印鑑証明を求められることが増えた。 					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民から「印鑑登録証がなくても証明書を出してほしい」との要求や「代理人での印鑑登録の簡素化」などの要望がある。 印鑑証明事務は「登録は厳格に、証明は簡潔に」の原則に基づき、きわめて厳格な審査や取扱いがなされなければならないとされている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> ・内容審査を厳格に行い、登録、証明発行を行うことで正確性を確保できている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の自治事務であるため、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・条例に基づき、本人確認を実施し、審査の正確性、管理が行われている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の自治事務であり、廃止・休止はできない。 	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・他に類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施するための印鑑登録証や用紙代など必要最小限の経常経費であるため、削減できない。 	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> ・15歳以上の市民(外国人含む)であれば誰でも申請が可能である。 ・登録手数料は無料であり、再登録は1,000円をいただいているため、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財産に関する取引に使用する印鑑を公に証明する事務であり、登録や証明発行には引き続き厳格な対応が求められており、即日での処理ができない場合、手続きの面倒さの訴えも多いが、理解が得られるよう丁寧な説明を心掛けている。 マイナンバーカード利用によるコンビニでの印鑑登録証明書取得数が増加しており、利便性向上になっている。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○	×	低下		×	×	×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持			○	×																						
低下		×	×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>